

国指定
史跡

ようふくじあと 永福寺跡



「AR 永福寺」でスマホ体験！
アプリで見ると、こんな風景
が…裏面右下のご参照を。

開園時間

4月～10月…9:00～17:00
11月～3月…9:00～16:30

閉園日・時間

7:00に大雨、洪水又は大雪等の警報又は注意報が発令中の場合(前日からの継続も含む)は終日閉園、開園時間中に発令された場合はそこから終日閉園。定休日無し。

所在地・アクセス(鎌倉駅から)

鎌倉市二階堂 209

徒歩…約30分

バス…「鎌倉宮(大塔宮)」行きで終点下車(約8分)、
鎌倉宮向かって右奥へ徒歩約5分

お問合せ先

鎌倉市教育委員会 文化財課 (☎0467-61-3859)



1. 史跡永福寺跡とは

国指定史跡。源頼朝が建立した寺の跡で、1966年に国指定史跡に指定され、現在、復元整備した建物の基壇と発池を公開しています。

2. 建立の経緯

1189年、奥州平泉を攻めた源頼朝が、合戦で亡くなった数万の将兵の鎮魂のために建立しました。平泉で目にした毛越寺や中尊寺に感銘を受け建立を思い立ち、様式も参考にしたと言われています。

3. 当時の姿

永福寺は当時の絵図などが残されておらず、1983年～96年にかけて行った約15,800㎡の発掘調査の結果、全体の規模や配置が明らかになりました。境内には3つの堂(南から阿弥陀堂、二階堂、薬師堂)が一行に並び、それらをつなぐ2つの廊と、南北端から東に張り出す翼廊で構成され、建物の東側正面には広大な池が広がっていたことが分かりました。12・13世紀当時の寺院としては全国でも有数の規模であったと考えられています(裏面図参照)。二階堂の本尊は釈迦如来と考えられ、阿弥陀堂の阿弥陀如来、薬師堂の薬師如来と併せた三尊を祀る寺院でした。

4. のちの地名の由来にも

源頼朝が征夷大将軍に任命された1192年に完成した、境内の中心となる堂は「二階堂」と呼ばれ、後に現在の同地の地名(二階堂)の由来となりました。

5. 感嘆を呼んだそのいで立ち、眺望

1194年までには二階堂の両脇の阿弥陀堂と薬師堂も完成します。この3つの堂を中心に、惣門、南門、釣殿、多宝塔、鐘楼、僧坊などが建ち並び、「雲にかかり月にも届き

そうなその姿は比類ない」「霞がかった眺望や桜の艶に心が浮き立つ」といった感嘆の声が残されています。

6. 幕府のサロン

頼朝の没後は、歴代将軍により境内で華やかな行事(蹴鞠、酒宴、花見、雪見、歌会等)が行われ、永福寺は幕府のサロンの役割を果たすようになります。

7. 200年の歩みと幕引き

鎌倉時代中期には大規模な修理が行われ、後期には二度の火災に見舞われ、焼失、再建を繰り返しました。1405年12月の火災では主な建物が焼け落ち、その後しばらくして記録が途絶えるため、この焼失を最後に再建されることは無かったと考えられています。

永福寺跡略年表

1192年 11月25日 二階堂完成
1194年 12月26日 三堂全て竣工
1280年 10月28日 鎌倉大火、二階堂焼失
1310年 10月6日 二階堂、大門等焼失
1405年 12月17日 永福寺炎上

～永福寺の風流～ (参考:『吾妻鏡』)

1199年 9月23日 頼家、蹴鞠を行う
1200年 閏2月29日 頼家、釣殿で酒宴。酩酊
1211年 4月29日 実朝、時鳥の声を聞くために訪れるが聞けずに空しく帰る
1214年 3月9日 実朝、桜の花見
1217年 12月25日 実朝、僧坊で終夜歌会
1232年 11月29日 頼朝、雪見、釣殿で歌会
1251年 3月10日 頼朝、花見
1260年 2月18日 宗尊親王、桜の花見